

平成 21 年 3 月 2 日

厚生労働大臣 舩添要一 殿

日本骨髄腫患者の会  
代表 堀之内みどり

## 要 望

### サリドマイド供給に関する緊急課題への対応

#### － 患者負担軽減と治療機会の保障を －

多発性骨髄腫患者にとって悲願であったサリドマイド承認には大臣以下関係者の皆様に心より御礼申し上げます。

この承認によって一層の治療の前進と生活の質の向上を強く期待していたにも拘らず、残念なことに以下のような深刻な課題が顕在化し、サリドマイド治療を必要とする多発性骨髄腫患者は治療薬を入手する機会を奪われ、治療戦略に重大な悪影響を及ぼす状況が出現しています。

国には、その責任と権限においてありとあらゆる手段を用い早急に全ての課題を解決し承認薬サリドマイドの迅速・円滑・安全な供給を実現する義務を果たすよう強く求めます。

#### 緊急課題

1. 高額薬価 ー 患者の経済的負担軽減策の早期策定
2. 不明瞭な供給体制 ー 必要十分な供給の実施及び供給状況の情報開示
3. 限定的な処方可能施設 ー 安全管理手順 (TERMS) が規定する処方可能医療機関条件の早期見直し
4. 個人輸入の制限 ー 承認薬の供給を受けられない患者のためにやむを得ず行う個人輸入継続の保証

以上

日本骨髄腫患者の会

〒184-0011 東京都小金井市東町 4-37-11

e-mail : owner-imfjapan@myeloma.gr.jp

ホームページ : <http://www.myeloma.gr.jp/>

本件連絡先 : サリドマイド担当 上甲 恭子 (副代表) 電話 090-6908-2189